

2007 年度

科目名  言語学概論 B	対象学科・学年 文学部日文 2 回生	担当者  塩田 勝彦
授業テーマ 言語の本質と機能 一人にとって言語とは何かー		
授業の概要と目標 我々が普段何気なく使っている言語を科学的に見るための基礎的な知識を講義する。題材は日本語、英語のような比較的身近な言語だけでなく、日本人にとって馴染みの無い言語からも取り上げていくことで、言語の多様性について考える機会を提供したい。		
評価方法 筆記試験と出席で評価する。		
テキスト 特に指定しない。	著者	出版社
参考書 『言語学』第2版 『日本語教師のための言語学入門』	著者 風間喜代三（他） 小泉 保	出版社 東京大学出版会 大修館書店
授業スケジュール・内容 1. 文の構造 ー 統語論、形態素の分類 2. 文の構造 ー 構造を表示するための方法 3. 文の構造 ー 構造の種類 4. 文の構造 ー 色々な統語現象 5. 文の意味 ー 事象の構造 6. 文の意味 ー 時制とアスペクト、モダリティ 7. 文の意味 ー 主題と焦点 8. 言語の多様性と類型 ー 世界の言語の多様性 9. 言語の多様性と類型 ー プロトタイプ 10. 言語の多様性と類型 ー 言語接触 11. 言語の変化 ー 言語の歴史的研究 12. 言語の変化 ー 文字 13. 言語の変化 ー 音変化 14. 言語の変化 ー 語族の設定と音対応 15. 言語の変化 ー 意味の変化		